

# 31 大分県高等学校新人空手道競技大会 実施要項

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟 大分県教育委員会
- 2 期 日 令和3年 10月16日(土) 9:00 審判監督会議、9:30 競技説明、9:45 競技開始 **(女子競技)**  
10月17日(日) 8:45 審判監督会議、9:00 競技説明、9:15 競技開始 **(男子競技)**
- 3 場 所 杵築市文化体育館(杵築市本庄2005) [審判監督会議:アリーナ本部席前]
- 4 競技規則 (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定(平成31年度版)に準ずる。  
(2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。
- 5 競技種目 (1) 団体種目 a) 男子団体形 b) 女子団体形 c) 男子団体組手 d) 女子団体組手  
※団体種目は各校チーム対抗戦とする。  
(2) 個人種目 a) 男子個人形 b) 女子個人形 c) 男子個人組手 d) 女子個人組手  
※個人組手競技は下記の体重別階級制で実施する。(令和2年度制定)  
**【男子】-55kg級、-61kg級、-68kg級、-76kg級、+76kg級**  
**【女子】-48kg級、-53kg級、-59kg級、+59kg級**
- 6 競技方法 (1) 組手競技は、団体種目・個人種目ともにトーナメント方式とする。  
(2) 形競技は、団体種目・個人種目ともに審判員7名の得点方式とする。団体形は予選にて、個人形は予選1・2回戦と準決勝にて、決勝と3位決定戦選出チーム・選手を決定する。
- 7 参加資格 (1) 「令和3年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
(2) 令和3年度(公財)全日本空手道連盟および大分県空手道連盟の登録会員であること。
- 8 参加制限 (1) 団体組手のチーム構成は、男女それぞれ監督1名、正選手5名、補欠3名の計9名とする  
(2) 団体形のチーム構成は、男女それぞれ監督1名、正選手3名、補欠3名の計7名とする  
(3) 個人種目は、形・組手それぞれ監督1名で選手は男女とも種目ごとに1校20名以内とする。
- 9 参加申込 (1) 申込期限 **令和2年9月24日(金) 必着**  
(2) 申込方法 大分県高体連webサイトより参加申込書をダウンロードして必要事項を入力する。  
男女各1部印刷して押印し、下記宛先へ送付する。  
なお、承認を得た申込電子データを下記宛メールにて送信する。  
(3) 宛先 〒870-0104 大分市南鶴崎3-5-1 大分鶴崎高等学校 水江友和 宛  
**メール送信先: mizue-tomokazu@oen.ed.jp データ送信期限: 9月24日(金)12:00必着**  
**ファイル名は R03県新人申込-学校名(例: R03県新人申込-大分鶴崎) とすること。**
- 10 参加負担金 選手1人あたり加盟校600円・非加盟校1,000円とする。(補欠含む) 大会当日受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 下記該当校および個人に九州新人大会(兼 全国高校選抜大会予選会)の出場権を与える。  
(1) 団体形・団体組手それぞれ上位4校  
(2) 個人形種目は上位4名  
(3) 個人組手種目は、男子は各階級の1位の者と、出場者数の多い3階級において2位の者に  
出場権を与える。女子は各階級の上位2名に出場権を与える。  
※各階級の出場者数により出場権決定の方法を変更する場合がある。(申し合わせ事項に記載)
- 12 組合せ抽選 (1) **令和2年9月29日(水) 13:00~ 大分商業高等学校(大分県高体連事務局)**  
(2) 組み合わせ抽選は、専門委員により抽選基準に基づいて行う。
- 13 連絡事項 競技方法の細目は、本大会の申し合わせ事項(別紙)により定める。

◆前年度からの主な変更点◆

団体組手の補欠人数を3名に増員（九州・全国大会に準拠）  
全国高体連空手道専門部指定ゼッケンの着用を規定

◆今大会は許可された観客の入場を認めます。顧問は事前に入場者一覧を専門委員長に提出すること。

0. 競技規則

- (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定（平成31年度版）に準ずる。
- (2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。

1. 団体形競技

予選にて得点方式により4チームを選出する。出場が4チームに満たない場合も、予選を行う。  
予選の1位と2位で決勝を行う。予選、決勝において同点の場合は旗判定とする。  
予選は指定形、決勝戦は予選で演じた以外の得意形とする。なお、決勝戦での分解演武は実施しない。  
演武前の礼、演武後の礼をしない場合は反則となる。

2. 個人形競技 【2019新ルール】

(1) 予選、準決勝

審判7名による得点方式で実施し、2名同時演武とする。欠場者が出た場合は詰めて実施する。  
予選1回戦にて各パートから4名を選出する。予選2回戦にてAB(8名)、CD(8名)から各4名を選出する。  
準決勝にてABとCDの2パート各4名から3名を選出し、上位1名が決勝、2位と3位が3位決定へ進出する。  
準決勝の演武順は予選2回戦における得点の低い者から行う。同点の場合は抽選により決定する。  
予選1回戦は第一指定形、予選2回戦は第二指定形、準決勝は得意形①とする。

(2) 3位決定戦

(1)の準決勝戦のABパート2位とCDパート3位、CDパート2位とABパート3位の選手により実施する。  
演武順については、準決勝における得点の低い者を赤、高い者を青とする。同点の場合は抽選により決定する。  
演武する形は得意形②とする。

(3) 決勝

(1)の準決勝戦の各1位2名により実施する。演武順については3位決定戦と同様とする。  
演武する形は得意形②とする。

- ※1 各回戦で同点により次の回戦に進出する人数が、規定の人数を超える場合は得点比較により決定する
- ※2 予選1回戦から決勝・3位決定までに、最低4つの形が必要である。
- ※3 指定形および得意形は空手競技規定の付録17および付録18から選択しなければならない。

3. 組手競技の安全具

以下の高体連指定の安全具を着用すること。

【女子】 正拳サポーター（全空連検定・赤青）、ボディープロテクター（高体連指定または全空連検定）、ニューメンホー（タイプVIまたはVII）、シンガード・インステップガード（高体連検定）の4点

【男子】 女子の4点にセフティーカップを加えた5点

※メンホーには「マウスシールド」を着用すること。

4. 団体組手競技

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 2回戦までは全員が競技を行い、3回戦以降は勝敗が決した時点で競技終了とする。  
勝敗が決する場合は、勝敗数はもちろん、得失点差が11ポイントを超えた場合も含まれる。
- (3) チームのメンバーが5名に満たない場合は、選手を先鋒から大将までの何処に配置してもよい。

## 5. 個人組手競技

- (1) 男女それぞれ下記の階級制とし、階級ごとのトーナメント方式とする。  
ただし、一階級3名のみ出場の場合は、リーグ戦にて順位を決定する。
- (2) 出場者は全員、指定された時間内に計量を受け、出場資格の確認を受けなければならない。
- (3) 階級表 着衣分0.5kgと計測器測定幅±0.5kgを考慮し、下記の通りとする。

【男子】	A	－55kg級	56.0kg未満
	B	－61kg級	55.0kg以上 62.0kg未満
	C	－68kg級	61.0kg以上 69.0kg未満
	D	－76kg級	68.0kg以上 77.0kg未満
	E	＋76kg級	76.0kg以上

【女子】	A	－48kg級	49.0kg未満
	B	－53kg級	48.0kg以上 54.0kg未満
	C	－59kg級	53.0kg以上 60.0kg未満
	D	＋59kg級	59.0kg以上

- (4) 計量についての注意事項  
計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ（半袖）、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。  
指定した時間内に計量を受けない場合、参加申込書にて届け出た階級の体重区分に適していない場合（超過または不足）は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。なお、他種目への出場は可能である。  
※選手の健康面に配慮し、無理な減量や増量を行わないこと。
- (5) 九州新人大大会（兼 全国選抜大会予選会）の出場権について（個人組手のみ）
  - 1) 女子は各階級の上位2名に出場権を与える。
  - 2) 男子は各階級の1位の者に加えて、出場選手数が多い3階級における2位の者に出場権を与える。
  - 3) 各階級で2名以下の出場者数になった場合や全国高体連推薦などによる場合は、原則として他階級へ振り分ける。詳細については、組み合わせ抽選時に専門委員会で審議して出場権を与える方法を決定し、各出場校へ周知する。

## 6. 確認事項

- (1) ゼッケンについて  
今大会より全国高体連空手道専門部指定のゼッケンを空手道衣の背中に縫い付けて着用すること。  
購入については別途連絡により案内する。
- (2) 九州新人大大会(沖縄)の輸送計画について  
今年度の九州新人大大会会場は沖縄県のため、航空券については事前に専門部で確保しております。  
【往路】11月18日(木)午後 【復路】11月21日(日)午後  
原則として出場校、出場者はこの便の利用すること。事前に事務室等へご相談ください。  
大会後に指定業者[(株)TEAM]からの申込要領により、手続きをお願いいたします。
- (3) 九州新人大大会への審判員派遣について  
九州新人大大会は九州高体連空手道専門部の申し合わせ事項により、各県より4名以上の審判員を派遣することになっています。  
つきましては、参加校より派遣費が負担できる審判員1名を派遣いただくことを原則とし、学校の事情により審判員が派遣できない場合は、審判員派遣費を参加エントリー数に応じて負担いただくこととしております。  
派遣審判員および派遣費が確定しましたら、改めて文書にてお知らせいたします。趣旨をご理解いただき、派遣費の納入をお願いいたします。

## 7. 感染症対策

- 別紙「感染症等の対策に関する留意事項について」を熟読してください。  
今大会は競技のWeb配信を行いません。会場のネットワーク環境が整っていないためです。  
ご了承ください。

## 感染症等の対策に関する留意事項について

空手道競技専門部

### 1 全競技共通事項

- (1)生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2)気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3)生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4)会場内に入る生徒(競技中以外)・競技役員・補助員は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離(2m以上)を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5)会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6)同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7)競技に使用する共用の用具(ボール等)については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8)競技会場内では、競技専門部(係員)の指示や誘導に従うこと。
- (9)競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

### 2 空手道競技における3密(密閉、密接、密集)の回避対策

#### 【大会本部】

- ・試合終了後は、速やかに次チームと入れ替わるように指示する。
- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。(別紙会場レイアウト)
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の動線を区分する。
- ・競技中および事前練習中の選手を除く全員にマスクの着用を義務化する。
- ・来場者は会場入口にて来場者名簿の確認を受ける。
- ・当日の朝、検温を行い、会場到着時に健康状態と合わせて申告を行う。
- ・来場者の連絡先は、大会役員および競技役員については専門委員長、選手については所属校顧問が把握するものとする。
- ・更衣室使用の際は前後に手指消毒を行い、入室は同時に4名までとする。
- ・待機場所は会場内後方または観覧席とし、集合整列はしない。
- ・次選手のみコート近くに設定する指定場所にて待機する。
- ・選手の観覧席における待機場所では、左右2つ以上の座席を空けて着席する。
- ・観覧席の消毒は、離席時及び帰宅前に各自で行う。
- ・大会で使用する用具(机、椅子、競技用具など)は、使用前と使用後に競技役員および参加校顧問で消毒を行う。

## 【 選手・役員 】

### 《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。
- ・空手道競技会場においては、熱中症の危険がある場合、空調設備を常時稼働する。

### 《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・競技終了時(特に組手競技)における握手は禁止する。

### 《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・試合終了後は、速やかに観客席またはアップ場所へ移動すること。
- ・入場者を制限しているが、会場の動線を区分するので注意すること。

## 【 観 客 】 ※今大会では観客の入場を以下の通り認める。

- ・対象者は、保護者、選手以外の部員、学校関係者、道場関係者のみとする。
- ・顧問は来場者名簿を作成し、事前に専門委員長へ提出する。
- ・観客席は指定された区域のみとし、フロアへの立ち入りは認めない。
- ・座席は左右2つ以上を空けて着席すること。
- ・応援は拍手のみとし、発声をしないこと。
- ・遵守事項が守れない場合は退館措置を命じることがある。



# 杵築市文化体育館【会場図】

